

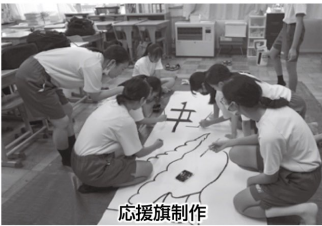
# 体育大会 9月27、30日



発行所  
岡崎市立葵中学校  
(電話 21-0171)  
(FAX 21-0172)

10月号

## 伝統の舞を、全力で魅せます そして、伝えます



応援旗制作

新人戦 3位入賞おめでとう!

### 全力

校長 柴田 昌一

九月、正門と北門に掲示されていた後藤静香さんの詩「全力」を紹介します。

#### 【全力】

後藤 静香

甲子園の野球  
名優のしばい  
幼稚園の運動会  
見ていると涙が出る。  
全力があまりに  
神々しいからである。  
はちきれるほどに熟した  
西瓜の美しさ  
咲けるだけ咲いた  
野菊の美しさ、  
全力は美である。  
力いっぱい現われは  
なんでも人をひきつける

先日の体育大会で三年生が「葵の舞」を舞いました。今年も生徒主導で一期から練習がスタートしました。リーダーが「葵の舞」を舞って見せ、全員が振りを覚えます。練習を重ね、助言し合うことで、舞の技が形になってきました。しかし、三年生は何か物足りなさを感じていました。

「卒業した先輩方の「葵の舞」を見て、心が震えた。感動した。今の舞には感

動が湧き出ない。「何が人の心を動かす、感動させるのだろうか……。」「葵の舞」の伝統を受け継ぐとは何だろうか。伝統を受け継ぐとは、次につなげるための責任を負う」ことではないかと考えました。

三年生は、「全力で舞う」ことが人の心を動かし、感動させるのだという考えに至りました。そして、「全力の美しさ」を先輩たちに伝えたいと思いました。一言で「全力」と言いますが、それは容易なことではありません。全力で舞う姿を皆に見せることは難しく、三年生は頭を悩ませました。そして、リーダーは朝練習を呼びかける決断をしました。強制ではない朝練習でしたが、朝が苦手な生徒や、教室で授業を受けることに抵抗がある生徒も参加しました。

先輩から受け継いだことをもとに、話し合いと練習を重ね、今年の「葵の舞」が完成しました。舞を終え、会場からは大きな拍手が沸き上がりました。見る者の心を動かす全力の舞でした。



# 葵中学校体育大会

## 葵DREAM

〜限りない夢への挑戦〜

令和五年九月二十七日(水)・三〇日(土)

3年		2年		1年		競技	優勝
女子	男子	女子	男子	女子	男子		
6組	6組	6組	4組	2組	6組	2組	2位
5組	1組	1組	4組	6組	2組	6組	3位
		3組		1組		4組	

### おめでとう

新記録賞

六〇メートル 九秒四七

新記録タイ

八〇メートル 一一秒二七



### 練習の成果

一年二組

入学式からちょうど半年、最も大きなイベントの体育大会。クラスのみならず仲よくなってきた時期に、さらに絆が深まったことを実感しました。花形種目のリレー。醍醐味の一つであるバトンパス。クラスみんなで話し合いながら、バトンをもらう場所、受け渡しをするときに声を掛け合うことなど、何度も練習しました。その結果、本番では、練習以上のバトンパスができました。みんなの頑張る姿を見て、応援にも熱が入り、リレーメンバーも「がんばれ！」という言葉に背中を押され、実力以上の力を発揮することができました。結果として、学年で優勝できたことがとてもよかったです。これから、体育大会で学んだことを生かして、より絆を深めていきたいです。

### 努力の結果

二年四組

私たちは、体育大会を迎えるまでにうまくいかないことや、不安に思うことがたくさんありました。苦しい思いをした人もいます。それでも仲間とともに練習を繰り返し、できるようになるまで諦めませんでした。

体育大会当日、思った以上に緊張し

ていて体が動かなくなりまし。そんなときに支えてくれたのは、今までずっと一緒に練習してきた仲間でした。不安な気持ちもあつたけれど、全力を出すことだけを考えました。特にリレーでは最後まで絶対に諦めませんでした。やはり諦めない心が大切だと思いました。

### 最後の体育大会

三年六組

中学校生活最後の体育大会。僕たちのクラスは、「絶対優勝するぞ」と意気込んでいました。三年生は「葵の舞」の練習があり、リレーや個人種目の練習が十分にできませんでした。しかし、限られた時間でもみんなで作戦を考えたり、繰り返し練習したりして、本番に向けて一生懸命取り組んできました。

その結果、一人一人が全力を出し切り、総合優勝をすることができました。体育大会を通して、六組は絆が深まり、ひと回り成長することができました。これからの行事でも、みんなで全力で頑張りたいと思います。

### 最高の「葵の舞」

三年六組

「葵の舞」を終えて、成長したことが

一つあります。それは努力することの楽しさを知ることができたことです。

僕は「葵の舞」リレーで、前に立ってみんなを引っ張っていく立場です。みんなを一つにまとめるということは、とても難しく、うまくいかないことがたくさんありました。しかし、この仲間と最高の「葵の舞」にしたい、みんなが一つになるような「葵の舞」をしたいという思いで毎日の練習に取り組み、本番を迎えることができました。一日目には、後輩にかっこいいと思ってもらえるような「葵の舞」を、二日目には、保護者や地域の方々に最高の「葵の舞」を披露することができたと思っています。



# 引き継いだ思いを胸に、いざ出陣!! 第五六回岡崎市中学校新人総合体育大会

一〇月四日(水) ～ 一〇月七日(土)

## 新人戦の記録

### 〔団体の部〕

三位

ソフトテニス部女子

バスケットボール部男子

バスケットボール部女子

### 〔個人の部〕

陸上女子

一〇〇mH

二〇〇m

走高跳

四×一〇〇mリレー

一位

水泳男子

一〇〇m平泳ぎ

二〇〇m自由形

水泳女子

一〇〇mバタフライ

優勝

優勝

三位

優勝

僕たちは、新人戦に向けて精いっぱい練習に取り組ん

できました。本番

でも全員が、最後

まで全力を尽くし

ました。惜しくも

予選リーグで敗退

する悔しい結果と

思っています。

来年は、新人戦に向けて精いっぱい練習に取り組ん

できました。本番

でも全員が、最後

なりましたが、僕たちは、それぞれの課題を見つけることができました。そして、チームの団結力も深まったと思います。これからも、今回の悔しさをばねに頑張っていきたいです。

## 仲間から勇気もらった新人戦

卓球部女子

私たち女子卓球部の新人戦は悔しい結果となりましたが、仲間と協力し、最後まで一生懸命戦いました。戦っている時に「がんばれ」という勇気づけられる声援を仲間からもらい、力になりました。

悔しいままで終わってしまうのではなく、相手選手から学んだことなどを生かし、次の大会につなげられるように、日々の練習を仲間と協力して頑張っていきたいです。

## 剣道部として

剣道部男子

剣道では礼法を大切にします。しかし、今回の新人戦で、礼法がおろそかになってしまった部分がありました。試合では、稽古の成果が出て、一本を決めきることができた一方で、少し気

を抜いたところ、打たれてしまった場面もありました。

気持ちの大切さを痛感しました。礼法をはじめ、気持ちの部分について、剣道部みんなで声を掛け合いながら、どこにも負けないチームにしていきたいと思います。

## 自分たちの課題

剣道部女子

新人戦では、私たちの目標であったベスト8入りを果たすことができました。しかし、納得のいかない結果を残してしまふことになりました。私たちの一番の課題は勝つ流れをつくり、その流れを続けることだと思います。課題を克服するために個人の努力だけでなく、チーム一丸となり、お互いを高め合うことだと思ふので、日々の練習を大切に頑張っていきたいです。

## 自分たちの成長

ソフトテニス部男子

今回の新人戦は、一回戦負けという悔しい結果でした。しかし、前回三対〇で負けた相手に対し、一対二という結果にすることができ、前回の結果を越えることができました。これは、一

一人が声を出し、チームの雰囲気を作り上げることができたからです。自分たちの成長を感じることができ

た、よい大会にすることができました。そして、今回見つけた試合の中での改善点を練習で意識し、次の試合でもよいプレーができるように努力していきます。

## さらなる成長を

ソフトテニス部女子

私たちは、今回の新人戦で三位を取ることができました。試合中には仲間同士でアドバイスを送り合ったり、励まし合ったりすることができ、成長を感じる部分もありました。しかし、この三位は自分たちの実力を百パーセント出し切ったものではありません。たくさんの悔しさが残る三位でした。今後は、自分たちのできていないところ

を確かめ、次の試合に向けてもっと成長していきま

## 悔しかった初めての大会

ハンドボール部

僕たちハンドボール部は四位という  
すごく悔しい結果に終わりました。  
この大会で実感したことがあります。  
それは、前の一年生大会で優勝したか  
らといって次も勝てるというわけでは  
ないということです。

今回の悔しさを忘れず、日頃の生活  
や部活動の取り組み方を改めて見直し  
ていきたいと思います。

## 全員で繋ぐ

バレーボール部

一球一球に思  
いを込めて挑ん  
だ新人戦。勝つ  
喜びと、負ける  
悔しさを感じま  
した。そして全  
員が全力でボー  
ルを繋げるた  
めに、声を掛け合うなど、チームとし  
ても成長することができました。一方  
で課題も多く見つかりました。苦しい  
場面でのミス、決めなくてはいけない  
場面で攻められない。これから、来年  
の夏に向けて改めて練習が始まります  
個々の技術を今よりも高め、最後の夏  
の大会で全員が笑顔で戦えるようにし  
ていきたいです。

## 最後の最後まで

サッカー部

新人戦の初戦は、一対一でPK戦と  
なり、三対一で敗北しました。しかし、  
試合の内容はとてよいものでした。  
特によいと思った場面は、後半戦に一  
対一と追いつかれたとき、全員が一丸  
となつてより強く攻めたり、最後まで  
諦めずに全力で走ったりしたところだ  
す。今回は負けてしまっただけで、こ  
の思いや経験を、次の試合に生かして  
いきたいです。

## 次に向けて

バスケットボール部男子

一・二回戦を勝ち、準決勝まで進み  
ました。そこで相手のディフェンスに  
自分たちのプレーを思うようにさせて  
もらえず、勝つことができなかったと  
同時に、チームの弱みを知ることがで  
きました。目  
標だった優勝  
には届かず、  
三位という結  
果に終わり、  
悔しかったです。  
弱みだけではなく、自分たちの強みを  
知ることでもできたので、この経験を生  
かし、次の大会に向けて練習を積み、  
次こそは優勝を勝ち取ります。

## 次こそは勝つ

バスケットボール部女子

準決勝では、夏休みの大会で敗戦し  
た時と同じ童海中学校と対戦しました。  
前半終盤で点差が開き、何とか追いつ  
こうと頑張った後半でしたが、苦しい  
展開が続きました。今の段階ではかな  
わない相手でしたが、フリースロー  
の決定率を上げ  
る、ディフェンス  
を強化する等の自  
分たちの課題が明  
確になりました。

日々の練習の中で、  
チームみんなで最  
後までやり切る強  
さを身に付けて、次の大会では新人戦  
よりももっとよい結果を残したいです。

## 最高学年として

水泳部男子

先輩である三年生が引退し、二年生  
が最高学年として引つ張っていく初め  
ての大会は不安な気持ちでいっぱい  
でした。上手くいくだろうかという不安  
な気持ちはありましたが、ウォーミン  
グアップのときに声を掛け合うことで  
気持ちに楽になり、リレーではそれぞ  
れが全力を出し切ることができました。  
この大会で見つけた改善点を踏まえて  
来年の大会に向けて、水泳部の仲間と

高め合い、頑張りたいです。

## 仲間とともに

水泳部女子

当たり前のようにいてくれた先輩が  
引退し、後輩と一緒に挑んだこの大会  
で私が水泳部を引っ張っていくんだと  
いう自覚をもちました。今までの大会  
は、自分のことばかり考えて行動して  
いました。しかし、この大会を通して  
みんなが協力して、お互いに助け合う  
ことが一人一人の自己ベストに繋がる  
ことを実感することができました。こ  
れからも良い結果が出るように、仲  
間と高め合いながら練習に励んでい  
たいです。

## 悔しさを糧に

陸上部男子

僕たちは、夏休みに練習を積み重ね  
てきました。しかし、新人戦では、入  
賞をすることができず、とても悔しい  
思いをしました。夏休みの練習が足り  
なかったと思いました。  
この悔しさを糧  
に、冬の練習では、  
仲間と声を掛け合  
い、次の大会では  
入賞ができるよう  
に日々努力してい  
きます。

### 先輩としての背中を見せる

陸上部女子

陸上は百分の一秒、一センチで勝敗が決まるシビアなスポーツです。私たちは、常に記録を伸ばすことを目標にして、日々の練習を積み重ねてきました。新人戦では、自己記録の更新と、応援してくれる一年生の後輩に、先輩としての背中を見せるつもりで挑みました。結果、個人では自己ベストを更新し、女子総合でも四位と納得のいくものとなりました。今後も、より高みを目指して、部員みんなで練習に励んでいきます。

### チャンスをつかむために

野球部

今回の新人戦、僕たちは悔しい結果に終わりました。敗戦した相手は、前回の大会で勝利した相手でした。そこで、僕は今回の僕たちに足りなかったものを考えました。それは、ワンチャンスをつかむ力だと考えました。前回の試合では、最終回にチャンスを作り、そこから勝利しました。数少ないチャンスをつかむことができるように、これまで以上に練習に励んでいきたいです。

### 新チーム初の公式戦

ソフトボール部

先輩方が引退してから初めての公式戦。緊張の中、試合が始まりました。この大会で私は、自分のことで手いっぱいにならないように努めました。試合が初めての一年生にもわかりやすい指示を出すことを目標にしました。経験を積んで、私も早く先輩のようになるために努力していきます。今回は負けてしまいましたが、次の試合までに、チーム全員で、たくさんの練習を積み重ね、勝利を収めたいです。

### 夏の大会・コンクールの記録

市長杯

〔団体の部〕

準優勝 ハンドボール部

〔個人の部〕

水泳男子

二〇〇m平泳ぎ 二位

二〇〇m背泳ぎ 三位

一〇〇m自由形 三位

水泳女子

二〇〇mバタフライ

優勝

四〇〇m自由形 三位

四×一〇〇mメドレーリレー

陸上男子

一〇〇mH 三位

陸上女子

一〇〇mH 二位

走高跳 三位

四×一〇〇mR 三位

西三河大会

〔個人の部〕

水泳女子

二〇〇mバタフライ

三位

全三河大会

全三河中学校陸上競技選手権大会

女子一〇〇mH 三位

県大会

愛知県中学校総合体育大会

陸上女子

四種競技

愛知県吹奏楽コンクール

西三河地区大会

全国大会

全日本中学校陸上競技選手権大会

男子一〇〇mH 出場

吹奏楽部

銅賞



令和五年度後期生徒会役員

役員		会長
女子	男子	
三年四組	三年二組	三年一組
三年一組	三年五組	三年三組
三年三組	三年三組	

部活動奨励賞

表彰の記録

岡崎市民バスケットボール選手権大会

準優勝 バスケットボール部女子

岡崎市民陸上競技選手権大会

女子一〇〇mH 二位

二〇〇m 三位

四×一〇〇mリレー 二位

岡崎市民総合ソフトテニス大会

三位

岡崎市民水泳大会

中学生女子五〇m背泳ぎ 優勝

中学生女子二〇〇m個人M 優勝

中学生女子四×五〇mFR 優勝

中学生女子四×五〇mMR 優勝

学校保健委員会

「生活習慣を見直し」

レジリエンスを高めよう  
困難を乗り越えるために  
必要なこと

令和五年 一月(一〇日) 月

日本ポジティブ教育協会から講師をお招きし、悩んだり落ち込んだりしたときに、自分で立ち直って前に進んでいく力(レジリエンス)を育てるために大切なことを学びます。

今後の予定

一月

二日(木)・三日(金)

文化祭

八日(水)

委員会

一月

一六日(木)・二〇日(月)

期末テスト

二月

二〇日(月)

学校保健委員会

二月

二二日(水)

生徒議会

二月

二四日(金)

ひまわりプロジェクト

二月

二七日(月)

県民の日(文化祭代休)

二月

二八日(火)

生徒集会

二月

五日(火)

あおいMAXII

二月

八日(金)・二日(火)

岡崎学力検査(三年)

二月

一三日(水)

保護者会

二月

一四日(木)

委員会

二月

一九日(火)

ひまわりプロジェクト

二月

二〇日(水)

長距離走大会、大掃除

二月

二二日(金)

生徒議会

二月

二三日(金)

給食終了

二月

終業式

終業式



真似ぶ

三年主任 久田 賢作

今はなき大俳優、勝新太郎さんが話していた中に、このような言葉があった。「学ぶは真似ぶ」。言語にしても技術にしても、人間は真似ることで学んでいく。勝新太郎さんの付き人をしていた俳優の松平健さんも「いろいろな後者の真似をしろ」と言われていた。ひたすら真似をしていく中で、自分の色が生まれるから、いろいろな後者の真似をしろ、というのが、このことである。これまで三年生は、葵中学校の中でたくさんこのことを真似しながら学んできた。葵中学校の伝統として受け継がれてきた「葵の舞」もその一つである。卒業した先輩たちが見せてくれた葵の舞。舞の技術はもちろんのこと、取り組む姿勢や雰囲気、一人一人の全力を「真似ぶ」ことができた。先輩から学んだ「葵の舞」に自分たちの思いを込め、必死に練習に取り組んできた三年生。体育大会当日に全力で披露した「葵の舞」には、先輩から盛大な拍手が送られていた。「真似ぶ」ことには「二つの責任が伴う。一つ目は真似をする側の取捨選択の責任である。真似をすることによって自分のためになる、成長につながる。周りに生かされるものは真似すべきであり、悪影響を与えるものは真似すべきではない。それを決めるのは自分自身である。もう一つは真似される側の見られる責任である。人に真似されたい姿であるか、行動であるか。知らず知らずのうちに人に見られていることもある。自分自身を見つめていかなければならない。あと半年で卒業を迎える三年生は、この二つの責任を果たしていくことになる。自分のこれからの人生に必要なことを選んで「真似ぶ」こと。そして先輩が「真似ぶ」ために必要な姿を見せていくこと。葵中学校が、先輩が成長していくためには三年生の力が欠かせない。これから先の三年生の頑張りを期待してやまない。